

住民からの声

今、ごみの減量化・資源化は、地球規模で考えていかなければならなくなり、大きな問題となっている。

右肩上がりのごみの排出量はとどまることなく増加している。

私達の行政区では、10年前に「ボランティアみらい」というグループを立ち上げ、その活動の一部にアルミ缶の分別回収を続けている。

「捨てればごみ、活かせば資源」と言われて久しいが、小さな力が大きな輪となって広がっていくことを強く望んでいる。



高根沢町在住
加藤 晴一さん



矢板市在住
村上 敏子さん

私達の家庭から出るごみを分別すると資源化されるものがたくさんあります。

びん類、新聞紙、雑誌、アルミ缶、発泡トレイ、ペットボトル等々。生ごみの堆肥化も進められており、ごみの分別は焼却ごみの量を減らし、焼却施設の安全維持にもつながります。

各地域、団体、家庭でごみの減量化・資源化について話し合う場を持ち、声をかけ合って積極的にごみの分別をしていきましょう。

買い物には「レジ袋何度も使えばマイバッグ」も励行しごみの減量化を図りたいものです。

シンポジウムの開催について

「これでいいのかごみ問題－未来のために考えようごみのこと」

塩谷広域圏内各市町では、宇都宮大学の先生方を交え下記の日程によりシンポジウムを開催します。各会場お気軽にご来場ください。

入場無料（各会場10時00分～12時00分）

日 程	開 催 市 町	場 所	定 員
5月23日(日)	矢 板 市	矢板市文化会館小ホール	150名
5月30日(日)	氏 家 町	氏家町公民館ホール	100名
6月 6日(日)	高 根 沢 町	高根沢町改善センター	100名
6月13日(日)	喜 連 川 町	喜連川町公民館	50名
6月20日(日)	塩 谷 町	塩谷町自然休養村センター	50名

「ニュースレター」及び「ごみ処理行政」に対するご意見・ご提案をお気軽にお寄せください。また、塩谷広域行政組合のホームページも開設しております。

※ホームページアドレス <http://www.shioyakouiki.or.jp/>

問 合
わ せ 先

〒329-1572 栃木県矢板市安沢3622番地 1

塩谷広域行政組合 次期ごみ処理施設整備担当 鈴木・印南
TEL0287-48-2760 FAX0287-48-0463